



古賀市記者懇談会（7月）

令和2年7月29日(水)13時30分～

古賀市役所 応接室 A

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

FBS、J-COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

①新型コロナウイルス感染症に関する差別防止に向けて道徳教材を作成しました【P1】

【古賀市教育委員会】（問い合わせは学校教育課 井上＝092-942-1130）

花鶴小学校では新聞記事を活用した「新型コロナウイルス感染症に関する差別」を防止するための道徳授業を5、6年生で実施予定です。新聞記事をもとに教諭が自主教材を作成しました。感染症の治療に携わる医療従事者が、自分や家族が差別される可能性があるにもかかわらず働くのは、治療が、患者の命を救うとともに社会を支えるからであることを理解し、自分も公共のために役立とうとする態度を育てる授業を実施しようと考えています。

②古賀市内中学校・高等学校吹奏楽部演奏会（School Brass band Festival in Koga）【P2】

【古賀市文化協会】（問い合わせは文化協会 柴田＝092-944-2778）

新型コロナウイルス感染症の影響で全国コンクールが中止となり、市内の3つの中学校と2つの高校の「吹奏楽部」の生徒たちの集大成の場が無くなってしまいました。そこで生徒たちの文化活動に対する情熱を冷めさせず、文化活動の継続を願って、大ホールでの演奏会を開催するものです。

◎《お知らせ》

① 人権の花が山口県周南市で花を咲かせました【P3】

【花鶴小学校】（問い合わせは花鶴小学校教頭 板山＝092-943-5000）

昨年11月2日に人権教育の一環として取り組む「人権の花運動」で飛ばしたひまわりの種が山口県周南市にわずか2日で飛んでいき、高齢者のご夫婦に大切に育てられ、見事に花を咲かせました。そのご夫婦からお手紙や写真が届きました。

② 千鳥小学校 各教室に消毒作業員さんへのメッセージ

【千鳥小学校】（問い合わせは千鳥小学校校長 神崎＝092-944-1341）

Facebookより

7月から、新型コロナウイルス感染予防対策として、子ども達が下校した後、教室やトイレを消毒していただいています。暑い中での作業、本当にありがたく思っています。でもそれだけでなく、毎日の消毒作業の合間に、トイレの便器を磨いたり、子ども達の掃除では手が行き届かない場所をきれいにしたりしてくださっています。22日に便器の写真を見せて、真っ白にぴかぴかになっていることに気付いていますか？と尋ねると、多くの子ども達が気付いていました。

感謝の気持ちを伝えるため、各教室で、黒板にメッセージを残しました。子ども達や担任の先生からの感謝の気持ちが伝わったようで、大変喜んでいただきました。黒板には子ども達への返事も残されていました。来週、登校した子ども達が大喜びする様子が目に浮かびます。（別紙③参照）

■問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 波多江、吉田＝092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

新型コロナウイルス感染症に関する差別防止に向けて 道徳教材を作成しました

古賀市立花鶴小学校では、新聞記事を活用した「新型コロナウイルス感染症に関する差別」を防止するための道徳授業を5、6年生で実施予定です。新聞記事をもとに作成した自主教材（花鶴小：芝尾教諭作）を通して、新型コロナウイルス感染症の治療に携わる医療従事者が、自分や家族が差別される可能性があるにもかかわらず働くのは、新型コロナウイルスの治療に当たることが、患者の命を救うとともに社会を支えるからであることを理解し、自分も公共のために役立とうとする態度を育てる授業を実施しようと考えています。

■道徳教材「温かい手」について（別紙①参照）

お母さんが、新型コロナウイルス感染症の可能性のある患者が運ばれてくる第一種・第二種感染症指定医療機関の看護師である主人公わたしが、学校で友達に「(コロナに)うつっているかもしれない」と言われ、お母さんに「病院に行くのやめてほしい」と話す。しかし、実際に患者さんのために必死で看護をしているお母さんの話を聞き、お母さんの患者さんを思う温かいことばから勤労と公共の精神の意義に気づくというあらすじである。

教材の登場人物であるお母さんのことばにより変容するわたしを通して、新型コロナウイルス感染症の治療に当たる医療従事者が、自分や家族が差別される可能性があるにもかかわらず働くのは、新型コロナウイルスの治療に当たることが、患者の命を救うとともに社会生活を支えるからであること（勤労と公共の精神の意義）を理解し、自分も公共のために役立とうとする態度を育てる内容となっている。

※もととなる記事：2020年5月20日付 西日本新聞 「医療現場 コロナの戦い1カ月」

■道徳の授業予定

月日	時間	学年学級	場所
8月3日(月)	2校時：9時30分～10時15分	5年1組	花鶴小学校5年1組教室
8月4日(火)	1校時：8時40分～9時25分	5年2組	花鶴小学校5年2組教室
8月6日(木)	3校時：10時30分～11時15分	5年3組	花鶴小学校5年3組教室
8月7日(金)	3校時：10時30分～11時15分	5年4組	花鶴小学校5年4組教室
8月18日(火)	3校時：10時30分～11時15分	6年1組	花鶴小学校6年1組教室
8月19日(水)	3校時：10時30分～11時15分	6年2組	花鶴小学校6年2組教室
8月20日(木)	3校時：10時30分～11時15分	6年3組	花鶴小学校6年3組教室
8月21日(金)	3校時：10時30分～11時15分	6年4組	花鶴小学校6年4組教室

【問い合わせ先】

古賀市教育委員会 学校教育課 担当：井上 電話：092-942-1130

温かい手

お母さんの仕事は、看護師だ。

患者さんの血圧や体温の測定。点滴や注射。患者さんの体の状態を詳しく聞いて、医師に伝える。また、食事の介助や手術の補助、夜勤での巡回など多岐にわたる。

お母さんは、毎日とても忙しいらしく、疲れて帰ってくる。

「たまには仕事、休んだら。」

と言うと、きまって、

「ごめんね、また疲れた顔してた？ でも休むわけにはいかないの。病気で苦しんでいる患者さんを少しでも楽にしたいのよ。」
とエプロンをつけながら言う。

お母さんの勤める病院は、※第一種・第二種感染症指定医療機関だ。

病院が慌ただしくなってきた。新型コロナウイルスの患者が病院に運ばれてきたのだ。

患者さんに乗せた車椅子には、ビニールが覆われている。ウイルスが広がるのを抑えるためだ。

患者さんは、隔離病棟に緊急搬送された。

防護服を着て病室に入ると、人工呼吸器をつけ苦しそうにしている男性の患者さんがいた。四十度の高熱。いつ心肺が停止してしまうかもわからない状況である。

「このまま死んでしまうんですか。」

とかすれた声が聞こえた。

「大丈夫ですよ。熱がある間は少しきついですが、じきに下がりますよ。」

お母さんは、笑顔で答えたが、心の中は不安でいっぱいだった。

数日後、患者さんは、自分の力で呼吸ができるまで回復し、人工呼吸器が外された。

しかし、病室の窓は閉められ、廊下に出ることも、家族に会うこともできない。

患者さんにとって、看護師は、直接話ができる貴重な存在だ。お母さんは、防護服を着て、患者さんと一定の距離を保ち、体の状態や気持ちをじっくり聞く。十五分ほどたつと重苦しい雰囲気も少し和らいだ。



「お前の母ちゃんって、〇〇病院だったよな？あそこって、コロナの人が入院してるんだろ？」

臨時休校から久しぶりに登校した5月、同じクラスの男子から突然言われた。

「そんなことわたしが知ってるわけないじゃない。」

「いや絶対いるって！うちの父ちゃんと言ってたもん。お前、うつってるかもしれないから気をつけろよ。」

みんなの視線が一斉に自分にむいたような気がした。

わたしは、今すぐその場から逃げ出したい気持ちになった。

「お母さん、もう病院に行くのやめてよ。」

スーパーの袋からいそいそと食材を取り出していたお母さんに言った。

学校であった出来事を話すと、お母さんは手をとめ、わたしの横に座りテレビを消した。

「お母さんたちのことを避けるような人も確かにいるの。医療従事者

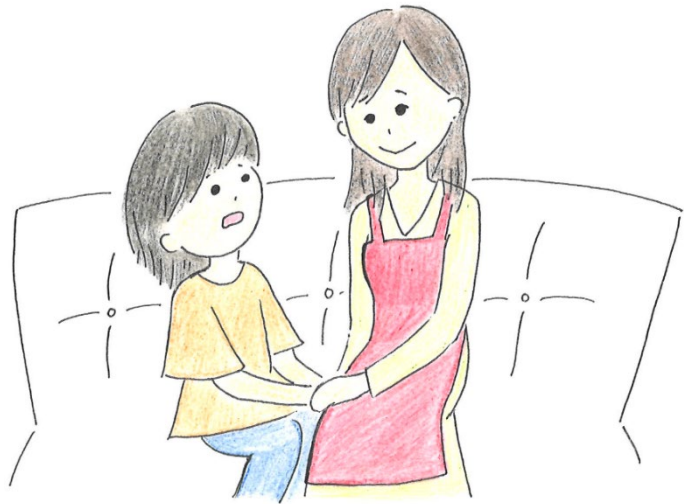
が感染するリスクがないわけじゃないしね。新型コロナウイルスを治す薬はまだないし、目にも見えないから、みんな

な不安になってしまうの。だから見えない不安から自分を守るために、見える相手を攻撃してしまうんじゃないかな。相手のことを思いやる力を不安は奪ってしまうの。」

お母さんの声が少し震えていた。お母さんは話を続けた。

「人工呼吸器を使用する重症の患者さんには、状態確認のために、数時間おきに病室に入る必要があるの。気を張る勤務の連続でね、お母さん疲れがとつても溜まって、もうやめてしまいたいって、思うこともあった。」





でもね、病状が回復して人工呼吸器を外すことができた患者さんから

『命をすくわれたよ、ありがとう』って泣きながら言われたの。お母さん、嬉しくてね。今もその言葉を励みにしてるの。』

お母さんの目に涙がたまっているのがわかった。

『でも、あなたには、本当に辛い思いをさせてしまつて、ごめんね。』

わたしの手をそつと握ってくれたお母さんの手は、とても温かかった。

『お母さん、ごはん作るの手伝うよ。』

『えく、うれしいこと言ってくれるじゃないの。』

ありがとう。じゃあね、じゃがいもの皮むいて

くれる?』

「オッケー」

わたしは、お母さんを心から誇りに思う。

わたしも今日から、わたしにできることを精一杯やろうと心に決めた。

※ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律で定められた一類感染症（エボラ出血熱、天然痘、ペスト等）および二類感染症（結核など）の患者に対する日本の医療機関のこと

古賀市内中学校・高等学校吹奏楽部演奏会

(School Brass band Festival in Koga)

古賀市内の3つの中学校と2つの高等学校には、「吹奏楽部」がありますが、新型コロナウイルス感染症の影響で全国コンクールが中止となり、3年生にとっては頑張ってきた部活動の集大成の場が無くなってしまいました。

そこで生徒たちの文化活動に対する情熱を冷めさせず、文化活動の継続を願って、感染予防のため無観客（観客は関係者のみ）で、大ホール（反響板等、コンクール仕様）での演奏会を開催するものです。演奏会は、ビデオ撮影を行いYouTube配信（予定）することで、市民に生徒の頑張りをアピールするとともに、若い世代に文化活動への関心・興味を持っていただき、今後、文化・芸術活動に積極的な参加を促すものです。また、出演した3年生全員に記念品としてDVDを作成し配布します。

■実施日時

8月1日（土） 9時30分～18時30分

・スケジュール

9：30 1番目 演奏開始

（各校30分間の演奏 その後、換気・消毒・セッティングに1時間30分）

17：30 5番目 演奏開始

18：00 演奏終了

・場 所 リーパスプラザこが 中央公民館 大ホール

（住所 古賀市中央2丁目13番1号）

■実施内容

・出演校 古賀市立古賀東中学校・古賀北中学校・古賀中学校

（出演順） 福岡県立玄界高等学校・福岡県公立古賀竟成館高等学校

※ 出演者全員「シトラスリボン（古賀市提供）」を左肩に付けて演奏します。

・観 客 学校・教育委員会・文化協会関係者

保護者（生徒1名につき2名まで）、協賛者のみ

・3年生への記念品 当日撮影のDVDを出演した3年生全員に配布

■主催

・主 催 特定非営利活動法人 古賀市文化協会

・後 援 古賀市教育委員会

（福岡県社会福祉協議会ボランティア助成事業）

【問い合わせ先】

古賀市文化協会 担当：柴田・山本

電話：092-944-2778 （火～金 10:00～17:00）

山口県周南市で花を咲かせた人権の花の種 ～人権の花運動が広げたつながりの輪～

夏休み前の7月21日、一通のお手紙とひまわりの花が写った写真が古賀市立花鶴小学校（校長 光延正次郎、児童数 665 名）に送られてきました。

昨年11月2日に、花鶴小学校から子どもがお手紙とともに風船に結びつけて飛ばしたひまわりの5粒の種が、山口県までわずか2日で飛んでいき、高齢者夫婦に大切に育てられ、見事に美しい花を咲かせたそうです。お手紙には種が届いた喜びや驚き、種まきをしたときなどの喜びなどが書かれていました。

■内容

7月21日（火）の昼前、山口県周南市から一通のお手紙が届きました。差出人を見ると、住所と「4年生のまつおかのりふみ君のひまわりの種をゲットした老夫婦より」と書いてありました。封を開けると、一通のお手紙とともに5枚の写真が入っていました。なんと、お手紙は、昨年11月2日、当時の3年生（現在4年生）がお手紙とひまわりの種を添えて飛ばした風船が、はるか瀬戸内海をこえて、山口県の山間地に届き、それを拾ってくださった立野さんご夫婦からでした。

お手紙には、「届いた種とメッセージを見て、驚きとうれしさのあまり、思わず学校に電話をして、来年種をまいて大切に育てます」と約束をしたこと」「今年の4月16日に5つの種まきができて大喜びをしたこと」「7月中旬、3メートルもの大きなひまわりの生長に山間地区のチョットした話題になったこと」など書かれていました。まさに、昨年3年生が取り組んだ「人権の花運動」の輪が広がったといえるお便りでした。

また、こんな言葉で締めくくられていました。「写真を同封しましたので、まつおか君にも見てもらって夫婦に喜びとロマンを与えてくれて『ありがとう！』とお伝えください。ひまわりの様に周りを明るく元気にする様なお子さんに成長される事を心から願っています。そして、7月の豪雨、災害、九州は大変なことになっていますね。心配しております。コロナの事もあり、大変な時ですが、花鶴小学校校長先生をはじめ関係者の皆様方頑張ってください。」と子どもたちの成長や私たち職員を気遣うお言葉まで書かれていました。

新型コロナウイルスの影響で、暗いニュースが多く、不安感が高まっている状況の中、このようなおたよりが届き、とても温かい気持ちにつつまれた一時となりました。今後、さらに「人権の花運動」の輪を広げていきたいと思えます。

※別紙②参照

【問い合わせ先】

古賀市立花鶴小学校 教頭：板山和枝
電話：092-943-5000